

# 福生市議会

# 正和会だより

令和4年2月発行  
 発行：福生市議会  
 正和会  
 責任者：武藤 政義  
 第50号

●正和会ホームページ  
<http://fussa-seiwakai.moo.jp/>  
 ●メールアドレス  
[fussa-seiwakai@drive.ocn.ne.jp](mailto:fussa-seiwakai@drive.ocn.ne.jp)

福生市議会正和会

検索



## ご挨拶

日頃より福生市議会正和会の活動に対して、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

福生市議会正和会の会長を務めさせていただいている武藤政義でございます。昨年9月に急逝された杉山行男議員の後任として会長の職を拝命いたしました。福生市議会の最大会派として加藤市長と連携しながら、しっかりとその役割を担っていく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの猛威がとどまるところを知りません。オミクロン株の第6波では感染者の急激な増加に驚かされました。そのような中ですが、福生市議会正和会の各議員は元気に活動しております。本紙でその様子が少しでも伝われば幸いです。

今後とも変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

福生市議会 正和会 会長 武藤 政義

## 市民の安全で安心な生活を守るため全力を尽くします!!



後列左から：石川義郎・小林 貢・小澤芳輝(会計)・山崎貴裕

前列左から：佐藤弘治(総務会長)・串田金八・武藤政義(会長)・清水義朋・幡垣正生(政調会長)

## 清水 義朋 議長が全国市議会議長会 基地協議会の会長に就任

2月15日に清水義朋議長が正式に就任しました。福生市が令和4年・5年の会長職を務めます。正和会としても全力で応援していきます。

## 《令和4年度 東京都への要望》

正和会では、快適な道路・歩道等の実現を目指し、市内の修繕・補修・改善について要望しています。

令和4年度は、主に下記項目について「東京都西多摩建設事務所」へ要望いたしました。

### 《主な重点要望事項》



▲新五日市街道の拡幅整備



▲武蔵野工業線の延伸促進



▲新奥多摩街道の電線類の地中化の促進

1. 福生都市計画道路3・3・3の1号新五日市街道線の拡幅整備事業促進(国道16号線と五日市街道との交差点接続調整を含む)
2. 福生都市計画道路3・4・2号志茂中央線(多摩橋通り)の整備事業並びに武蔵野工業線延伸事業の整備促進及び両事業の完成に伴う多摩橋通り原ヶ谷戸第二交差点周辺の渋滞対策
3. 福生都市計画道路3・3・30号武蔵野工業線(産業道路)延伸の促進
4. 主要地方道29号立川・青梅線(新奥多摩街道)の歩道整備及び電線類の地中化の促進
5. 主要地方道29号立川・青梅線(旧奥多摩街道)熊野橋歩道橋の点検・補修整備
6. 都道の道路照明灯のLED化の推進
7. 都道165号伊奈・福生線(あきる野市側)の圏央道インターへのアクセス道路としての整備促進
8. 都道歩道の根上がりによる段差の解消とインターロッキングの緩み点検及び補修
9. 主要地方道7号杉並・あきる野線(睦橋通り)の渋滞緩和 ほか

## 《令和4年度 福生市政施策に関する要望》

正和会では、令和4年度の市政に関する要望を下記のとおり行いました。

市民のみなさんが、安全で安心して暮らせる環境を更に進めてまいります。

加藤市長へ「市政に関する予算要望書」を提出



### 《主な重点要望事項》

1. 安全、安心なまちづくり
  - (1) 新型コロナウイルス感染症対策の推進
  - (2) 風水害及び震災対策の強化
  - (3) 自主防災組織の支援強化
2. 少子高齢化対策
  - (1) 子ども・子育て支援事業計画(第2期)の着実な推進
  - (2) 幼稚園、保育園等への支援の充実
  - (3) 介護保険事業計画(第8期)の着実な推進
3. 学校教育の充実
  - (1) 新型コロナウイルス感染症に伴う児童・生徒の安全対策
  - (2) 計画的な学校関連施設等の点検及び補修の推進強化
  - (3) GIGAスクール構想の着実な推進
  - (4) いじめ、不登校対策の強化
  - (5) 通学路の安全対策(交通安全・防犯・防災の観点から)
  - (6) 我が国と郷土を愛する心を育む教育の推進
4. 都市基盤整備
  - (1) 東福生駅バリアフリー整備
  - (2) 福生駅西口地区再開発事業の支援
  - (3) 新五日市街道線の拡幅推進
  - (4) 福生駅東口：富士見通りの整備促進
  - (5) JR踏切の安全な歩道の確保
5. 商工業対策の充実
  - (1) 新型コロナウイルス感染症に関わる経済対策の充実
  - (2) 中小商工業振興対策の強化
  - (3) 商工業の次世代への継承支援
7. その他
  - (1) 町会・自治会会館の施設整備等の補助の充実
  - (2) 公立福生病院の医療体制の充実
  - (3) 市有資産を活用した自主財源の確保 ほか



▲保育園等への支援の充実



▲学校教育の充実



▲JR踏切の拡幅

# 正和会

## 正和会所属議員の各々の 12月議会(一般質問)をふりかえって



建設環境委員  
横田基地対策特別委員  
たま広域資源循環組合議長

串田金八



今回の一般質問では消費者行政について伺いました。オレオレ詐欺をはじめ、多くの皆様が被害に遭われていると聞いて、福生市では消費者啓発に力を入れているということなので、どのような取り組みをしているのか伺いました。

福生市としては、『消費者相談室の体制の整備、消費者生活相談員のレベルアップを図るための支援、未成年者を対象とした消費者啓発事業、高齢者の見守り手活動の啓発事業などを実施している』とのこと。その他に、『啓発を目的に、配電地上機器のラッピング、アニメーション動画の作成、除菌ウェットティッシュの制作や、東日本旅客鉄道の車両内の広告を独占するAD(アド)トレイン事業などを行った』とのことでした。

JR中央線快速電車1編成の車内の中吊り、窓上、ドア横のポスター及びトレインチャンネルをすべて独占した広告列車の走行や、駅構内へのB1サイズのポスター掲出は圧巻でした。

清水義朋



市議会議長  
市民厚生委員



新型コロナウイルスの出現から2年が経とうとしておりますが、この間、行政のデジタル化の遅れがニュースにも

なりました。市議会におけるデジタル化は、議会活動や業務の効率化に有効であり、12月議会からタブレット端末の試験的な運用が始まりました。当初は慣れない様子も見られましたが、本会議や委員会の審査を経験したり、また行政からタイムングよく情報提供が受けられることから、議員がタブレット端末のみを持ち歩く様子も近い将来多く見られることと思います。

さて、全国208市町村が加盟する全国市議会議長会・基地協議会の令和4年・5年の会長に、福生市が就任いたしました。米軍だけではなく自衛隊も含め防衛施設を抱える自治体の様々な負担や状況を踏まえ、予算要望や関係機関と意見交換をしっかりと進めていかなければならないと改めて身の引き締まる思いです。こうした動きにも、是非注目していただければと思います。

正和会会長

武藤政義



市議会副議長  
総務文教委員  
横田基地対策特別委員  
福生病院企業団副議長



12月議会では正和会の会長として一般質問を行いました。一般質問は議員個人が市に対して質問するというものです。が、会派を代表するという意味も含まれることから、『令和4年度の予算編成について』という、大きな視点に立った質問をし、『東福生駅自由通路の整備や、福生第一小学校の学校内児童クラブの整備』などが明らかにになりました。

また、『横田基地について』の質問は、正和会の会長が10年前からすべての議会で一般質問を続けております。福

生市にとって基地の存在は非常に重要であることから、補助金・交付金のことなどについて確認しました。

そして、福生市は子育て支援において高い評価を受けていることから、今回は「子育て施策のPRについて」というタイトルで、こふくナビについて質問しました。『低予算にて完全手作りの子育て支援専用ページが、担当課によって作成され、子育て支援の情報が更に見やすくなったこと』を確認しました。

正和会政調会長

幡垣 正生



議会運営委員  
建設環境委員  
横田基地対策特別委員  
西多摩衛生組合議長



この度は、福生市のデジタル化への取組み状況と、今後の取組みについて市長へ質問をさせて頂きました。

今回の質問の背景には、特に高齢者の市民の方からのデジタル化を便利に活用ができないことへの不満であったり、携帯電話やパソコンなどのデジタル機器を苦手とする人たちの要望などがあります。福生市としては、市長にもその様な声が届いている事が確認できております。コロナ禍により社会生活が変容する中で、行政手続きにおいてもオンライン化が進んでおります。更なるデジタル化に向けた検討も開始してまいります。

益々デジタル化が進んでいく中で、デジタル機器への使用に抵抗感がある市民も少なくありません。福生市としての市民対応は課題の一つであることと行政も認識をしております。デジタル化は市民生活の向上、教育現場での

学力レベルアップに深く関係があります。高齢者、障害の有無、性別、経済的理由等に関わらず、可能な限り誰もが取り残さない市民サービスを積極的に進めていただければ、議員活動に邁進して参ります。

正和会総務会長

佐藤 弘治



議会運営委員  
総務文教委員  
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会副委員長  
瑞穂斎場組合副議長



自由な存在として「活動」することが人間の条件の一つであるという言説に従えば、前提となる個々人の固有性や独自性等の差異あるいは多様性を相互承認し、関係性を築くことから全ては始まります。

人間の「活動」が営まれる「場」はそうしたことを踏まえ人間の「生」の充実に資するものであることが期待されます。道路、公共施設、学校等様々な公共の空間が、「活動」を支える「場」として機能してきました。持続可能な街づくりを進める中で、地域社会や時代の要請と将来のニーズに合わせる、新たな役割と機能を備えた「場」を創出する必要があるのです。

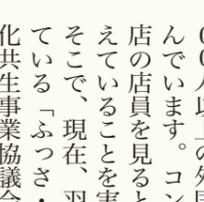
新たな「場」の創出という観点から次の要旨で質問。  
①富士見通りの歩くことが楽しくなる場の形成  
②公共施設の再配置等に必要とする市民との合意形成  
③新たな教育の場を支える教育構想(小中一貫校)。  
詳細はこちらをご覧ください。

益々デジタル化が進んでいく中で、デジタル機器への使用に抵抗感がある市民も少なくありません。福生市としての市民対応は課題の一つであることと行政も認識をしております。デジタル化は市民生活の向上、教育現場での

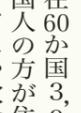
項目について一般質問をさせて頂いたしましたが、本紙では、表題についてご報告をさせていただきます。

正和会会計

小澤 芳輝



議会運営委員  
建設環境委員  
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員  
西多摩衛生組合議長



福生市には現在60か国3,000人以上の外国人の方が住んでいます。コンビニや飲食店の店員を見ると明らかに増えていることを実感致します。そこで、現在、羽村市と行っている「ふつき・はむら多文化共生事業協議会」の取組みと課題について、やさしい日本語の活用と啓発について、外国人への情報提供について、の3点について質問しました。

羽村市との協議会は令和2年度に設置され、アンケート調査を行った。日本人への調査結果では、多文化共生という言葉の認知度が低かったこと、外国人との交流がないとの回答が多く、また、外国人へのアンケート結果では、「ことば」や「金銭的な問題」についての回答が多数見られ、知りたい情報として「医療や健康保険」について等の回答が見られた。

福生市ではホームページで「やさしい日本語翻訳導入検討事業」として外国人への情報発信の強化に努めているとのことでした。

《児童・生徒を交通事故から守る取組の推進について》  
令和3年12月議会では、2

現在も利用者サービスの向上や賑わいの創出、市場性等について民間業者からの提案を伺っているところである」との回答をいただきました。

私はカフェや道の駅などの展開も要望していますが、新しい公園への期待が持てそうです。

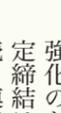
また、市内小学校の通学路につきましては、ここで安全点検が一緒に行われ、危険箇所の内容により警察等関係機関を含め、安全対策が推進されてまいります。

皆さんと共に、子どもたちの交通事故防止対策に引き続き取り組んでまいります。

山崎 貴裕



議会運営委員  
総務文教委員  
新型コロナウイルス感染症対策特別委員  
福生病院企業団副議長



埼玉県狭山市の河川敷中央公園にはカフェがあり、多くの市内外の人々で賑わっているそうです。

公園の活用方法も生活様式の変化に伴い、多様化してきております。福生市にも76の公園があり新スタイルの「場」を創出できないかと考え、これからの公園の活用について伺いました。

現在も利用者サービスの向上や賑わいの創出、市場性等について民間業者からの提案を伺っているところである」との回答をいただきました。

私はカフェや道の駅などの展開も要望していますが、新しい公園への期待が持てそうです。

現在も新型コロナウイルス感染症の猛威により我々の日常生活は脅かされております。更に温暖化をはじめ地球規模での自然災害は年々増加傾向にあり、複合災害に対する防災強化は喫緊の課題である。

そこで今回の12月議会の一一般質問では、①福生市で70を超える防災協定の基本的な考え方を伺ったところ、『防災強化のために他団体等との協定締結は有効なもので、引き続き連携強化に努めたい』と回答を戴いた。

また一方で防災をはじめ地域の連携強化を図るためには市民の意識向上、更には郷土愛を醸成し育む教育の強化も重要課題であることから、②「ふるさと福生に対する愛着と誇りの醸成」について質問した。

『市教育委員会としても極めて重要な教育課題と認識しており、子どもたちにふるさと福生への愛着と誇りを培う教育を推進する』と力強い回答を戴いた。

昨年9月9日の正和会だより別紙にてお知らせさせて頂いたましたが、会派の代表であった杉山行男議員が急逝(令和3年9月4日)されました。

杉山さんは常に「市議会議員とは何か」を私達に行動で示す、チャレンジ精神旺盛な方で、地域と子ども達を大切にされる方でした。後輩には勉強会を開き、知識や経験を惜しみなく伝えてくれました。『議員はもつと勉強しないと』と口癖のように言っていて、難しい陳情等はその背景を自ら講義することもしばしば。議会改革についても、とても熱心でした。iPadの導入を積極的に進めたのも杉山さんでした。

昨年12月議会での一般質問では全議員が積極的にiPadを使用しました。3月の議会からは本格実施です。新たな時代に相応しい議会を創りあげていくため、研鑽を積んでまいります。望むことの全てができるわけではありません。しかし、成すべきことは、望んでからでなければ始まりません。

正和会、力を合わせ、チャレンジしていきます。杉山さんありがとうございます。

編集後記  
委員 佐藤 弘治  
委員 小林 貢  
委員 石川 義郎



九輪草(白)



ランキンキュラス(オレンジ)